

# 仕事と家庭の 東ドイツ史

女性たちはどうやって  
労働・家事・育児の  
「両立」を目指したのか

仕事と家庭の両立は、現在の日本でもとても困難な問題です。この講座ではかつての東ドイツ（1949年～1989年）の人々がどのように労働、家事、育児のバランスをとってきたかを探ります。東ドイツは、建国当初から「女性解放」を掲げて女性の社会進出を推し進めていました。しかし同時に、世界でも最も早く少子化問題に直面していました。労働と家庭の間で悩む女性が多かったのです。また、東ドイツの男性たちにはどのように仕事と家庭のバランスをとっていたのでしょうか。本講座では、東ドイツの事例で学び、現代社会におけるヒントも考えたいと思います。

講師

伊豆田 俊輔

獨協大学外国語学部 准教授

2024年7月6日 土  
15:30～17:00 (15:00より入場・受付開始)

会場

東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館 ホール（地下1階）

※駐車場はございません。公共交通機関の利用にご協力ください。（地下鉄南北線五橋駅下車 南1出口より徒歩5分）

問合せ先

東北学院大学ヨーロッパ文化総合研究所事務担当

TEL:022-264-6379 E-mail:europa@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

※お電話でのお問い合わせは月～金（9:00～17:00）のみ対応可です。

どなたでも受講できます

受講料 無料

事前申込不要